

【 消毒液と消毒方法 】

塩素系消毒液(0.02%、0.1%)の作り方

塩素濃度が約5%の場合（市販の塩素系漂白剤に多い濃度）



0.1%に希釈

500mLのペットボトルのキャップ2杯の塩素系漂白剤を入れます。

0.02%に希釈

500mLのペットボトル1本に、ペットボトルのキャップ1/2杯の塩素系漂白剤を入れます。

※原液の濃度は商品 によって異なるため、
希釈前に確認することが重要です!!

希釈の計算方法(希釈液の濃度(%))×希釈液の量(ml)÷原液の濃度(%))

具体的な消毒方法

場所	部位	消毒方法
トイレ、洗面所、浴室、汚物室	便器、蛇口、トイレのノブ、浴槽等	洗浄後、0.1%消毒液をペーパータオル等につけ拭き取る
便、吐物等汚染があるもの	寝衣、下着、シーツ等	流水で洗い流し、0.1%消毒液に約30分浸して洗濯
	壁、床、汚物処理に使用した物品	0.1%消毒液をペーパータオル等につけ拭き取る
飛沫が付着した可能性がある場所、または汚物が付着した手で触れた場所	手すりやドアノブ等よく手が触れるところ、壁、床、車椅子やその車輪、ベッド柵等	0.02%消毒液をペーパータオル等につけ拭き取る
希釈したものは、冷暗所で保管し、24時間程度で破棄して下さい！		拭き取った場所が金属等腐食性がある場合は、約30分後に水拭き

吐物処理時の注意

嘔吐物には人が感染する量のウイルスが含まれます。処理方法によっては汚染を拡大させるため、正しい方法で処理する必要があります。

- ⌘ 処理時、靴底や手、膝等を無意識に汚染すると、感染源を広げる。嘔吐物、排泄物に触れるときは必ず防護しましょう。
- ⌘ 嘔吐物は、おおよそ半径1~2m程度まで飛散する。嘔吐があった中心部だけでなく、広範囲に消毒しましょう。

必要物品

⌘ 使い捨ての手袋
(1回に2セット)



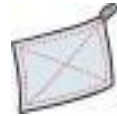
⌘ 使い捨ての
マスク、ガウン



⌘ 塩素系消毒液



⌘ 使い捨てのペーパー
タオル、布 (数枚)



⌘ バケツ



※環境消毒用は、0.1%の塩素系消毒液を染みこませておく。

⌘ ビニール袋

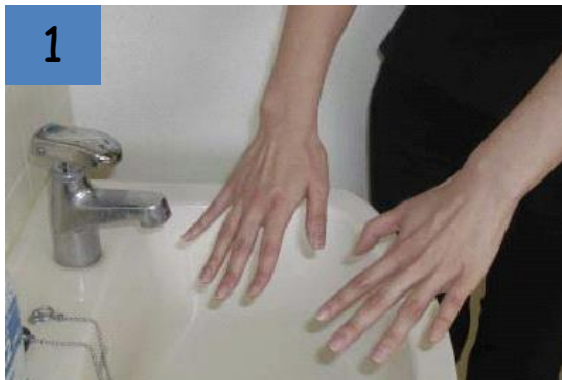


(1回に2枚)

- 必要な物品は、所定の場所にそろえておく
- 吐物処理を行う者は、自分が感染しないよう必要な準備をしてから作業を行う
- 汚染を拡げないように、片付けまで手順に従って正確に

作業を始める前に…

1



汚染場所に人が近づかないようにする。

腕まくりをし、腕時計、指輪等はずし、手袋(2枚を重ねて着用)、マスク、ガウンを着用。

2



処理後の吐物や物品を破棄するバケツに、ビニール袋を1枚入れ、口を広げる。

消毒するエリア(吐物から半径約2m)の外側に置く

その他、必要物品をそろえる。

3



もう1枚のビニール袋に、0.1%に希釈した塩素系消毒液(以下、「消毒薬」という)を入れる。

吐物処理の方法

1



吐物をペーパータオルで覆い布等で外側から内側に、拭き取り面を折り込みながら拭き取る。

同一面で拭き取ると、汚染を広げるので注意！！

* 吐物に消毒液を拭きかけても、濃度が下がるため、効果は低い。

2



吐物や、拭き取りに使用した布等は、あらかじめ消毒液を入れたビニール袋に入れ、消毒液に浸す。

吐物の拭き取りが終わったら、重ねた手袋の外側をはずし、ビニール袋に入れる。

3



4



ビニール袋に入れた物が全て浸るよう消毒液を入れ、袋の口をしっかりと縛ったあと、バケツに入れる。

5



吐物があった周囲を、消毒液を染みこませたペーパータオル等で、できるだけ広範囲(嘔吐物から半径約2m)に拭き取る。

塩素は、金属腐食性があるので、拭き取った場所が金属の場合は30分後に水拭きをする。

6



手袋、ガウン、マスクを脱ぎ、バケツに入れる。

外側を触らないよう、脱ぎ方に注意！

7



バケツに広げたビニール袋の口を縛り、廃棄場所に捨てる。

ビニール袋の内側を触らない！

処理後は必ず手洗いをする。

嘔吐があった場所は窓を開け換気しましょう

正しい手袋の外し方

1 片方の手袋の袖口をつかむ



2 手袋の内側が表になるよう外す



3 外した手袋をもう片方の手で丸めて握る



4 反対の手袋の袖口に手を差し込む



5 手袋の内側が表になるよう外す



6 手袋を破棄し、手指衛生を行う



ガウンの脱ぎ方



首ひもをちぎる



汚染面が内側になるように
腰の辺りで折りたたむ



袖から両腕を抜く



前に引いて腰ひもを切る



適当な大きさにまとめる



バケツの中に捨て、
ビニール袋の口を縛って
所定の場所に捨てる



流水で手を洗う
※エタノール含有擦式消毒薬による
手指消毒の有効性は低くなります